

文教厚生委員会視察研修報告

○日時 平成 22 年 1 月 18 日（火）～ 20 日（木）

○研修先

長野県東御市商工会

交通弱者、地域振興、商業振興の観点から、定時路線バスに加え、戸口から戸口へ送迎する新交通システム「デマンド運行」を実施し、成果を挙げている。利用者の 84%が女性、80 歳代が 44%。強いリーダーの存在とシステムのあり方をよく検討したことが伺えた。

普通の暮らし研究所岩井屋

障害者のデイサービスや、精神に障害を持つ方が栽培した野菜を東京方面へ出荷するなどの障害者就労支援事業を実施している。土に触れること、趣味を生かすことで心の変化があるのではないかと感じた。

安曇野市社会福祉協議会

デマンドバスの運行主体の多くは商工会であるが、安曇野市は高齢者など交通弱者の福祉向上の観点から社会福祉協議会である。多い利用先は、病院、スーパー、福祉施設の順。実施を前提とした住民の意向調査・アンケート等を徹底的に行ったこと、オペレーターに土地勘のある地元の主婦を雇用了ことが成功の鍵だったとの説明が深く心に残る。

徳州会湘南鎌倉病院

「いつでも、どこでも、誰でも、最善の医療が受けられるようにしたい。」との徳田理事長の想いが詰まった病院には最先端の医療機器が備わっていた。いつの日か榛原病院のもと、脳外科医の派遣を強く強くお願いしてきた。



長野県東御市商工会



普通の暮らし研究所岩井屋



安曇野市社会福祉協議会



徳州会湘南鎌倉病院